

6次産業化で農林水産大臣賞

日頃の「(株)瀬戸内ジャムズガーデン」



▲(株)瀬戸内ジャムズガーデンのみなさん

6次産業とは…

1次産業（農業など）、2次産業（製造・加工など）および3次産業（流通・販売など）を連携させる取り組みで、生産者や地域を活性化するための新たな経営形態を表すものとして用いられています。

このたびの受賞は、地域の生産者との連携や自社での取り組みをはじめ、過疎・高齢化の進む地域にあつて、新たな雇用（26名）を生み出していることや、島内の事業者らと新たな商品開発に取り組んでいることなどが高く評価されました。

起業から年々成果を積み重ね、平成23年には法人化も実現し、そうした取り組みは各方面で紹介され、島へのIターン・Uターン者が増えるきっかけにもなっています。

異業種や地域とのネットワークを積極的に構築し、新たな視点で6次産業化に取り組んでいる全国各地の優良事例の中から、このたび日頃の(株)瀬戸内ジャムズガーデン（代表 松嶋匡史さん）が最優秀である農林水産大臣賞に選ばれ、11月25日、東京で行われた全国シンポジウムの会場で表彰されました。

代表の松嶋さんは平成15年に会社を退職し、奥様の実家である周防大島町にIターンされ、瀬戸内ジャムズガーデンを設立。地域のみかんや、耕作放棄地を活用し生産した新たな果物等を使って、原料にこだわったジャム作りを取り組まれています。



12月16日、椎木町長に受賞の報告に訪れた松嶋さん（写真中央）と顧問の中川一さん（写真左）

平成27年度 宮本常一が撮影した写真を調べるコンクール

宮本常一が撮影した写真を調べるにより、宮本常一への理解を深め、周防大島町の歴史や地域の変遷への興味・関心を高めるために、町内の小中学生を対象にコンクールを実施しました。本年度は第10回となる節目のコンクールとなりました。受賞された方は下記のみなさんです。

■教育長賞

「宮本常一の写真 今と昔」 明新小3年 藤本圭汰くん

■入選

「やっぱり安下庄が大好き ～宮本常一さんの一枚の写真から～」

安下庄小4年 大田優華さん、柏谷 桜さん、古川 匠くん、新谷星楠くん、
藤原果凛さん、松田さくらさん、村田紀佳さん

「大島大橋ができて」

三蒲小5・6年 岡原有希くん、木本佳奈さん、東川慶伸くん、
山田萌香さん、川本 蓮くん、吉兼晴香さん

「和佐の今と昔」 明新小6年 小方陽介くん

「宮本常一が撮影した写真について」 東和中1年 平本夏美さん



▲教育長賞
「宮本常一の写真 今と昔」

☑受賞作品は、宮本常一記念館（平野417-11）において、1月25日（月）から2月7日（日）まで展示いたします。このコンクールを通して、宮本常一が実践した「あるく みる きく」の精神を子どもたちが受け継ぎ、ふるさとのよさについて考えていくことを願っています。

◆問い合わせ 学校教育課 ☎0820(78)2204